

令和5年度 学校評価結果

郡山市立喜久田中学校

数字は、よくあてはまる=4 ややあてはまる=3 あまりあてはまらない=2 全くあてはまらない=1
として、目標値7割(2.80)を下回った項目を課題と考え、色枠で表示しています。

【学び続ける生徒】

質問項目	1年	2年	3年	全校	教職員
① 子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	2.94	2.85	2.90	2.90	2.92
② 学校は、子どもの個性や努力をよく把握し、適切に指導・評価している。	3.35	2.76	2.95	3.03	3.17
③ 子どもは、進んで家庭学習に取り組んでいる。	2.94	2.82	2.75	2.85	2.42
④ 子どもに、基礎的な学力が身についてきている。	2.91	2.88	2.95	2.91	2.42
⑤ 子どもは、将来の夢や目標を持って努力している。	2.74	2.55	3.00	2.72	2.50

【心ゆたかな生徒】

質問項目	1年	2年	3年	全校	教職員
⑥ 学校は子どもの心身の健康についての指導を工夫している。	3.12	3.03	3.00	3.06	3.00
⑦ 子どもに、思いやりの心や命を大切に作る心など、豊かな心が育ってきている。	3.09	3.39	3.25	3.24	3.00
⑧ 子どもに基本的な生活習慣が身についてきている。	3.12	3.12	3.21	3.14	2.83
⑨ 学校は各種行事や体験活動に力を入れている。	3.26	3.25	3.05	3.21	3.25
⑩ 子どもはSNSやゲーム、インターネット等をルールを決めてやっている。	2.59	2.76	2.80	2.70	2.58
⑪ 子どもに、読書に親しむ習慣が身についてきている。	2.56	2.48	2.55	2.53	2.58

【健やかな体づくりに努める生徒】

質問項目	1年	2年	3年	全校	教職員
⑫ 学校は、子どもの安全・安心に配慮した教育活動を展開している。	3.35	3.34	3.15	3.30	3.58
⑬ 子どもは、進んで運動に取り組み体力の向上が見られる。	3.21	2.97	3.00	3.07	2.75
⑭ 子どもにねばり強さが身についてきている。	3.00	2.81	3.05	2.94	2.50
⑮ 子どもは健康で安全な生活を心がけている。	3.18	3.16	3.15	3.16	2.75
⑯ 学校では、給食指導や家庭科の授業を通し食の大切さを指導している。	3.32	3.41	3.25	3.34	3.42

【家庭・地域・関係機関との連携】

質問項目	1年	2年	3年	全校	教職員
⑰ 学校は、教育目標や教育方針を説明している。	3.35	3.28	3.20	3.29	3.33
⑱ 学校は、子どもや保護者の意見・悩み等に対し、親身に対応している。	3.09	3.06	2.80	3.01	3.50
⑲ 学校は、各種お便りやホームページで、学校や子どもたちの様子を伝えている。	3.44	3.09	3.05	3.22	3.83
⑳ 学校が保護者に出すお便りや文章などは、分かりやすく時期も適切である。	3.35	3.38	3.05	3.29	3.29
㉑ 学校は、地域と連携した教育活動を展開している。	3.09	3.28	3.10	3.16	3.42

【自由記述】

ご質問・ご意見等	学校からの回答
○ 一部の授業で不適切だと感じる生徒を頭ごなしに否定する言葉や態度がみられる。生徒が納得する指導をしてほしい。	言語環境を整え、生徒の心に響く指導により一層心がけてまいります。ご指摘ありがとうございます。
○ ホームページに生徒たちの活動のようすをより多く載せてほしい。	ホームページには、学校の行事などタイムリーに生徒の活動のようすが分かるようにより充実させてまいります。
○ 生徒の夏・冬の制服を男女とも健康面、時代に合ったデザインについて検討してもらいたい。	今年度のPTA役員会の中では、経済面などを考慮し、変更しないことになりましたが、今後も、検討を続けていきたいと思ひます。
○ PTA講演会に子どもが明るく前向きになるような話をさせていただける講師の方講演を企画していただきたい。	来年度の講演会をPTA役員の方が中心となって検討しているところです。より充実させるために、講師の方を推薦などご協力をお願いいたします。
○ 生徒の希望を大切にし、どの生徒にも活躍の場を与えるようにしてほしい。	生徒一人ひとりの心情に「寄り添った教育」の充実のため、生徒一人ひとりの生徒、保護者の思いや願いを大切に、「生徒には何が必要かを考えながら教育活動を進めていきたいと思ひます。
○ 生徒の健康や学習環境への教室内の環境整備を充実させてほしい。	教室内の換気、適切な温度管理を担当、養護教諭を中心に、保健委員会の生徒とともに徹底させていきたいと思ひます。
○ アンケートに無記名にしたほうがより多くの意見が出るのではないかと。子どもの評価に影響するの不安である。	保護者のご意見が生徒によく影響があることはございません。氏名の記入は、保護者の方との連携のために必要ではないかと考えています。記名に疑問がある場合には、無記名でも結構でございます。

※ 建設的なご意見をありがとうございました。

◎ 結果の考察と今後の対応策

- 「学び続ける生徒」では、保護者・教職員共に「学校は、個性や努力をよく把握し、適切に指導・評価している。」への評価が比較的に高かった、より一層の一人一人の生徒に寄り添った指導を心がけたい。
- 「心豊かな生徒」では、保護者・教職員共に「子どもに、思いやりの心や命を大切に作る心など、豊かな心が育ってきている。」「学校は、各種行事や体験活動に力を入れている。」への評価が特に高い。今後とも家庭と協力し、感染症対策など健康に留意して、体験活動を取り入れた心の教育を進めていきたい。
- 「健やかな体づくりに努める生徒」では、「学校は、子どもの安全・安心に配慮した教育活動を展開している。」「学校では、給食指導や家庭科の授業を通し食の大切さを指導している。」への評価が高い。さらに食を大切に体づくり、そして、安全・安心な教育環境づくりを進めていきたい。
- 「家庭・地域・関係機関との連携」では、全体的に評価が高かった。新型コロナ禍前の活動を考慮し、信託に込めることができる教育活動を家庭・地域・関係機関と連携しながら進めていきたい。
- 「学び続ける生徒」では、全体的に3.0を下回っており、課題である。将来の夢や目標を持ち、それに向けて努力していけるように、授業の改善と家庭学習の充実に向けて、保護者と学校が連携して取り組んでいきたい。
- 「心ゆたかな生徒」では、インターネットの使用や読書の習慣に課題が見られる。ICTの活用による学習はこれからの学校教育に不可欠である。情報モラル教育の充実を家庭と連携して進めていきたい。また、朝の読書活動、図書館教育の充実を図っていきたい。
- 「健やかな体づくりに努める生徒」では、「子どもにねばり強さが身についている。」が項目の中では、低い評価となっている。特に教職員の評価が低い。授業や学校行事、部活動など学校の教育活動を通して、最後までやり通すことを大切にしながら指導し、自分に自信をもった生徒を育成していきたい。
- 「家庭・地域・関係機関との連携」では、「学校は、子どもや保護者の意見・悩み等に対し、親身に対応している。」が項目の中では、低い評価となっている。悩みアンケートや定期教育相談の機会だけでなく、日々の生徒観察、教育相談、SCとの連携を充実させ、生徒の悩みに親身になって対応していきたい。

※ 本アンケートは回収率が、1年 73.9% 2年 91.7% 3年 61.3% でした。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。